

H6studio

Handy Recorder



クイックツアー

製品に関するソフトウェアやドキュメントは以下の Web サイトでご覧いただけます。



zoomcorp.com/help/h6studio

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください。

© 2025 ZOOM CORPORATION

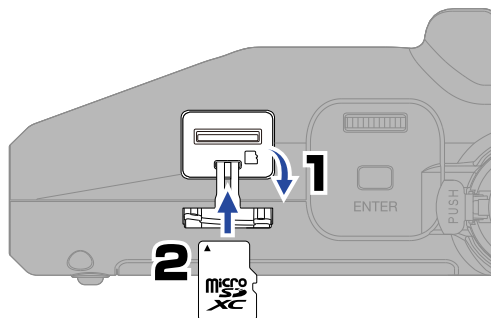
本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

本マニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

本マニュアルの内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

白黒端末では正しく表示できません。

microSD カードをセットする



対応記録メディア

microSDHC メモリーカード

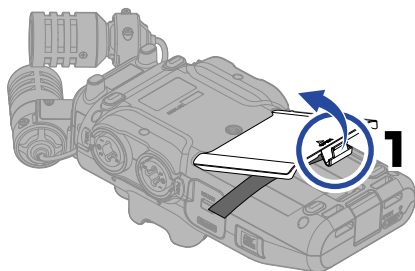
microSDXC メモリーカード

動作確認済み microSD カードの使用をお勧めします。

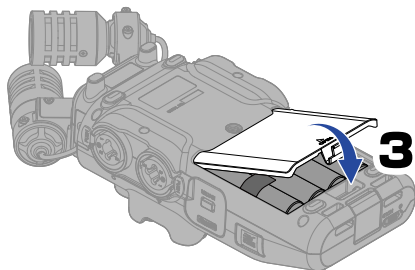
ZOOM の Web サイト (zoomcorp.com/help/h6studio) で確認してください。

- microSD カードを抜き差しするときは、必ず電源を OFF にしてください。
- microSD カードを取り出すときは、一度スロットの奥に押し込んでから引き抜いてください。microSD カードが飛び出さないようご注意ください。

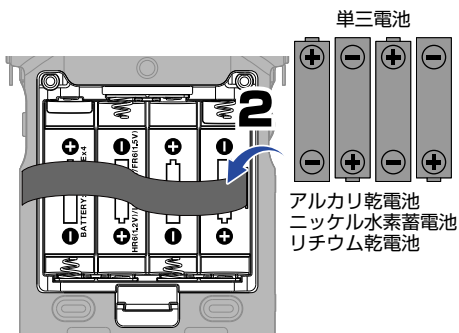
電源を入れる



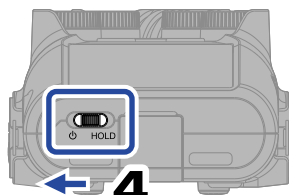
上に押しながら開ける



電池カバーを閉じる

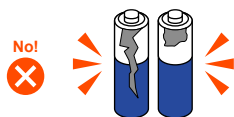


電池リボンを下に敷く



電源を入れる

電池を使用する際は、故障や液漏れを防ぐために、以下の点にご注意ください。



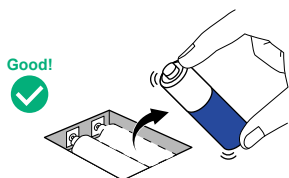
被覆が剥がれている、または表面に傷がある電池は使用しない



異なる種類やメーカーの電池を混ぜて使用しない

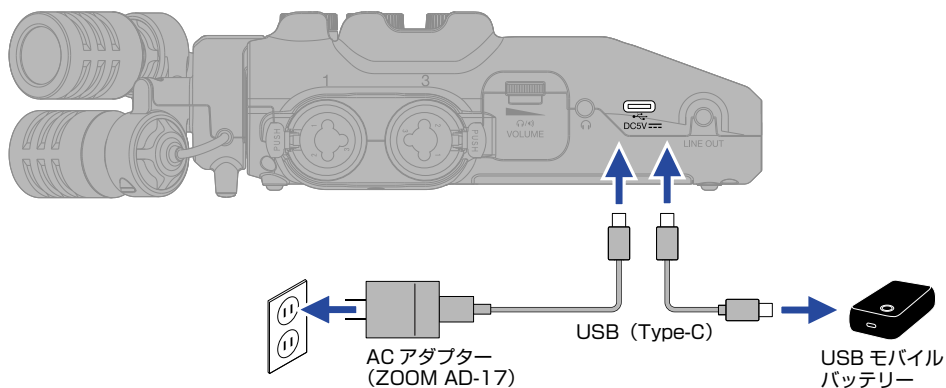


新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない



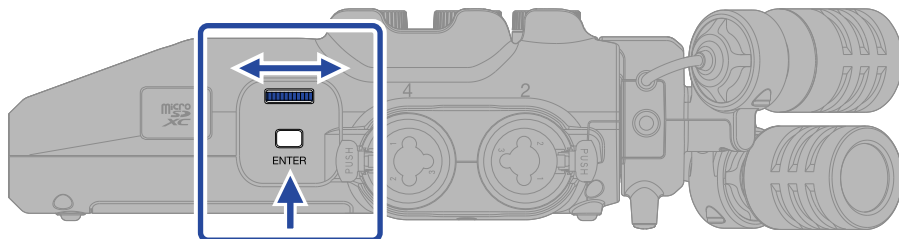
使い切った電池は早めに取り外す
長期間使わないときは電池を取り外す

専用の AC アダプター (ZOOM AD-17) または市販の USB モバイルバッテリーも使用可能です。



初回起動時の設定を行う

画面に応じて  (選択) と  (決定・実行) を使用してください。



アクセシビリティの設定



目の不自由な方にもお使いいただけるよう、音声ガイドやビーブ音を設定できる機能を搭載しています。

音量は、本体左側面にある  (VOLUMEダイヤル) を回して調節してください。

言語設定



 を押すと、1 つ前の画面に戻ります。

日付形式設定



年月日はここで設定した順で
録音ファイル名に使用されます。

日時設定



設定項目を選択して、決定する



値を変更して、決定する



全ての項目を設定したら、「OK」
を選択して、日時設定を終了する

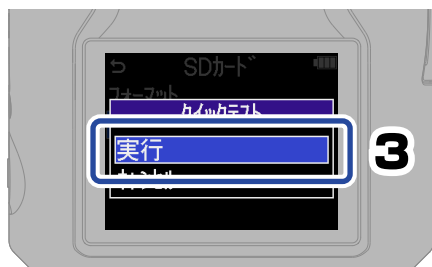
電池タイプの設定



電池残量を正確に表示するために、使用する電池の種類を正しく設定してください。

SD カードテスト

H6studio で初めて使う microSD カードをセットした場合、SD カードテスト画面が表示されます。クイックテストは microSD カードの容量に関わらず 30 秒程度で性能を確認できるので、テストすることをお勧めします。



クイックテストが終了したら、
 で画面を閉じてください。

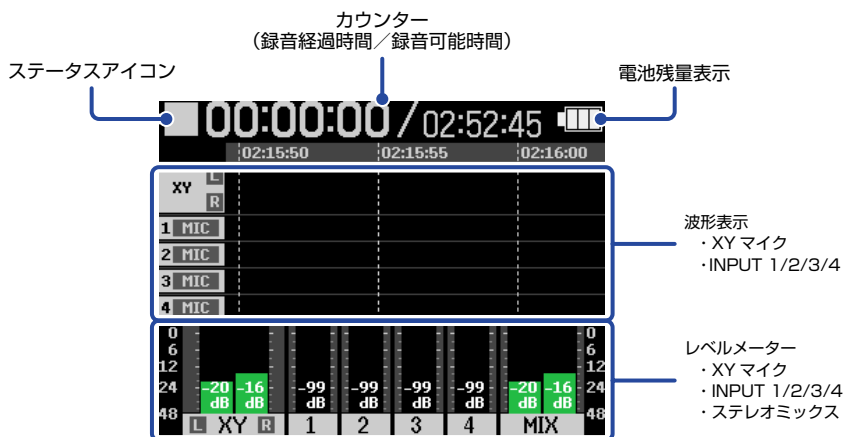
フルテストは全領域を確認するため、microSD カードの容量に応じて必要な時間が変わります (64 GB で約 1 時間半)。

SD カードテストは、microSD カードに関する設定画面からいつでも行えます。

テストの終了後は  で素早くホーム画面に戻ることができます。

設定を終了すると、ホーム画面が表示されます。

■ホーム画面



を回すと、画面上部にメニューバーが表示されます。

メニューバー (FILE LIST / INPUT / OUTPUT / REC / SD CARD / USB / SYSTEM)



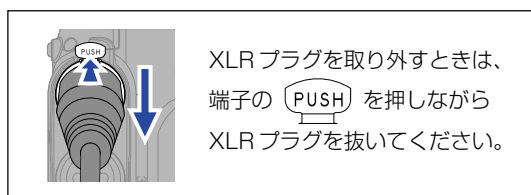
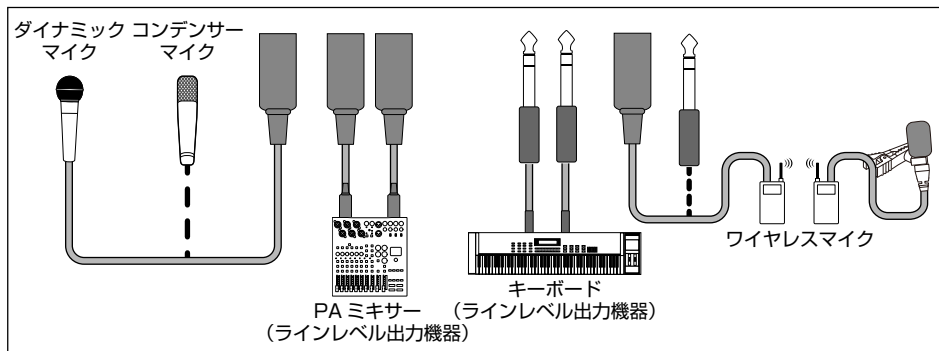
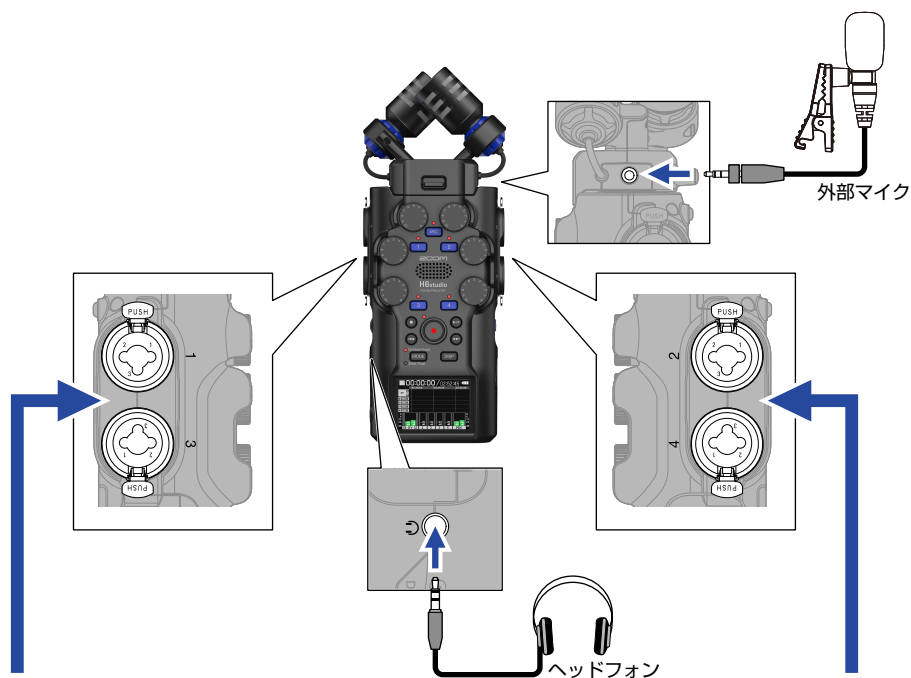
ホーム画面で



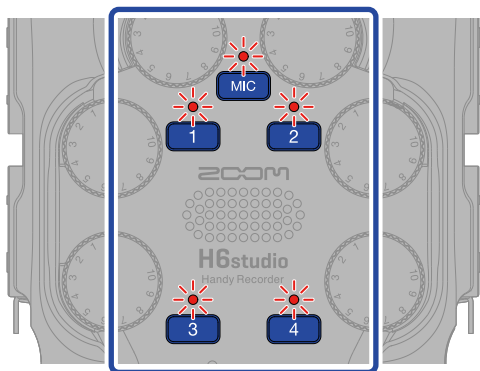
を長押しするとガイド音を即座に ON/OFF できます。

録音の準備をする

機器を接続する



録音するトラックを有効にする



インジケーターが赤く点灯し、録音可能な状態になります。

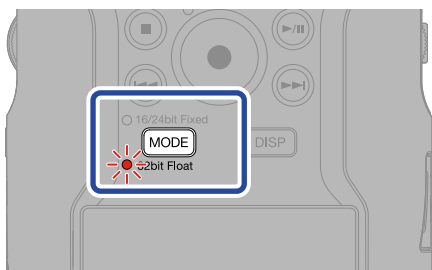
録音モードを選択する

○ 16/24bit Fixed

MODE

を押して、録音モードを選択します。

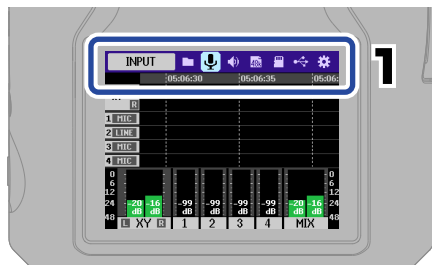
○ 32bit Float



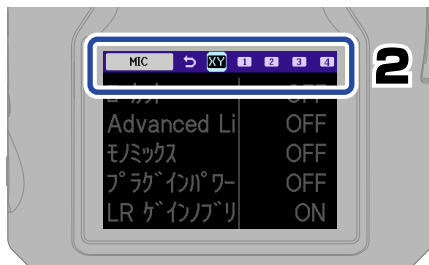
 で選択し  で決定してください。

- ・ 32bit Float を選択した場合、オーディオファイルがクリップすることはありません。
- ・ 16/24bit Fixed を選択した場合、録音ファイルのデータサイズは小さくなりますが、クリップしないように録音レベルの調節が必要です。

入力の設定をする



1



2



を回してメニューバーを

表示させ  を選択する

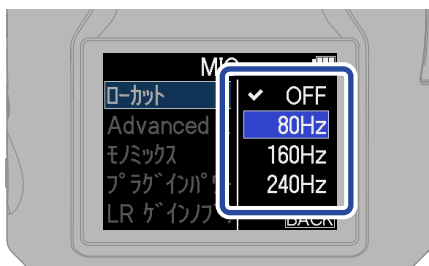
XY マイクの場合：  を選択する

INPUT 1/2/3/4 の場合：

 ～  選択する

ここから先は、ローカットを設定する手順です。

その他の設定（→ [「!\[\]\(7453c0f29ed3a7dcecf77fe714fbbf84_img.jpg\) 入力の設定](#)」）も同様に操作してください。



-  /  を押すと、前／次の項目を選択します（一部画面をのぞく）。
- 、 または  を押すと、素早くホーム画面に戻ることができます（一部画面をのぞく）。

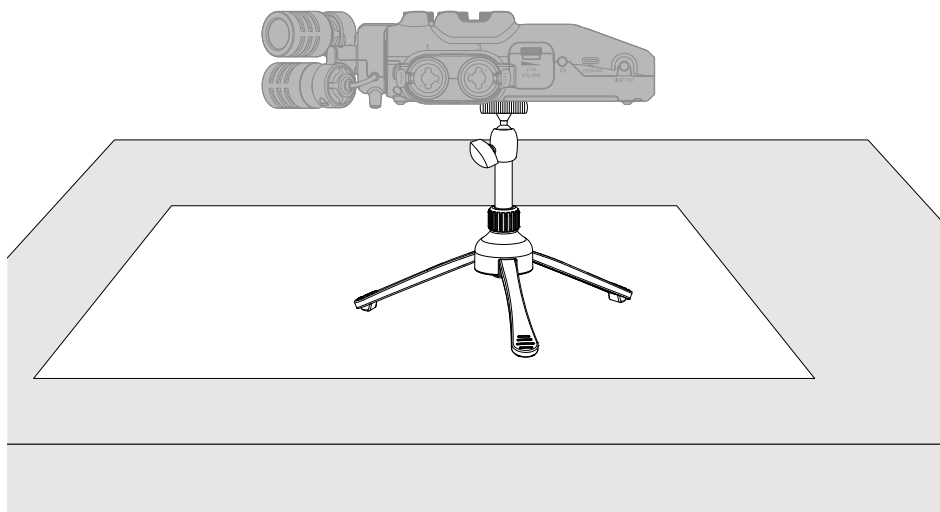
■入力の設定

設定項目	MIC	INPUT 1/2/3/4	説明
マイク / ライン		○	接続機器に合わせて設定します。 マイク：マイクを接続した場合 ライン：ミキサーやキーボードなどラインレベル出力 機器を接続した場合
+48V オン / オフ		○	コンデンサーマイクを接続した場合に ON にします。
ローカット	○	○	風雑音やボーカルのポップノイズを軽減することができます。
Advanced Limiter	○	○	最大レベルを先読みすることで、歪まないように最適化されたリミッターです。
モノミックス	○		XY マイクの音をモノミックスします。
プラグインパワー	○		プラグインパワー対応のマイクを XY マイクの MIC/ LINE IN 端子に接続した場合に ON にします。
1&2(3&4) リンク		○	ステレオに設定すると、INPUT 1(3) を L、INPUT 2(4) を R とするステレオファイルが録音されます。
1&2(3&4) ゲインノブリンク		○	ON にすると、INPUT 1(3) GAIN ノブだけを使用し て INPUT 1/2(3/4) の音量を揃えることができます。
LR ゲインノブリンク	○		OFF にすると、左右 2 つの MIC GAIN ノブをそれぞ れ使用して XY マイクの LR の音量を別々に調節する ことができます。

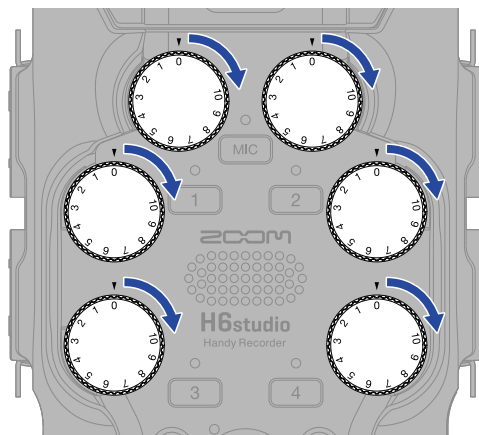
ファンタム電源に対応していない機器にはファンタム電源を供給しないでください。機器が破損することがあります。

■より良い音で録音するために

机の上に H6studio を直接置くと、反射音が干渉してサウンドが不鮮明になる原因になります。三脚などを使用して、机から離して設置することをお勧めします。また机の反射音を抑えるには、ハンカチなどを敷くのも効果的です。

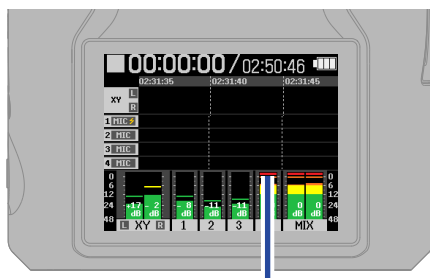


音量を調節する



レベルメーターが振れていることを確認してください。

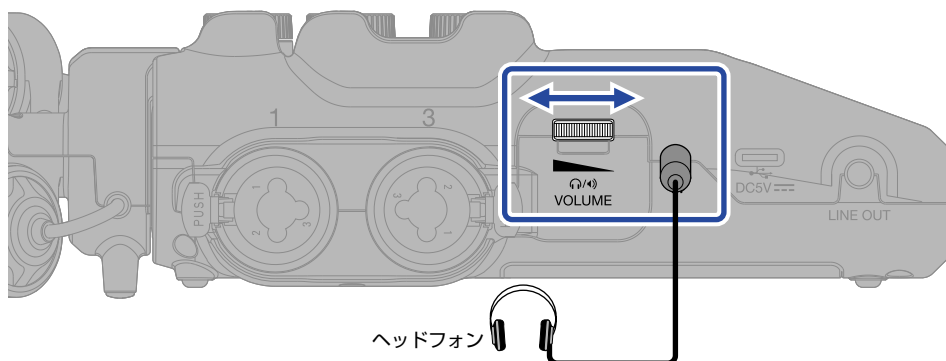
全体の音量バランスを調節してください。



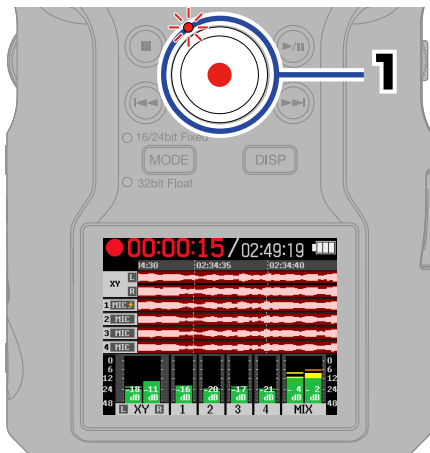
クリップインジケーター

- 音量の調節はモニター音と録音データに反映されます。
- 16/24bit Fixed を選択している場合、最大音量時のレベルメーターが -12 dB 辺りになるよう調節してください。録音レベルが 0 dB に達すると、クリップインジケーターが点灯します。点灯したクリップインジケーターは  を長押しするか、 を操作すると消灯します。
- 32bit Float を選択している場合、ハードウェアでクリップすると、ステータスインジケーターが点滅します。入力の設定の「マイク / ライン」を「マイク」にしている場合、「ライン」に設定することでハードウェアでクリップすることを避けることができます。
- 録音中でも  を操作して、音量を調節することができます。

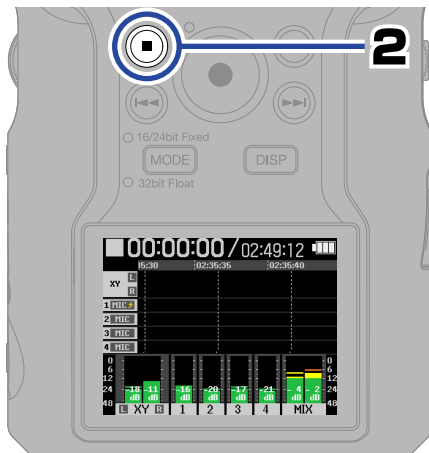
■モニター音量を調節する



録音する



インジケータが赤色に点灯し、録音が始まります。

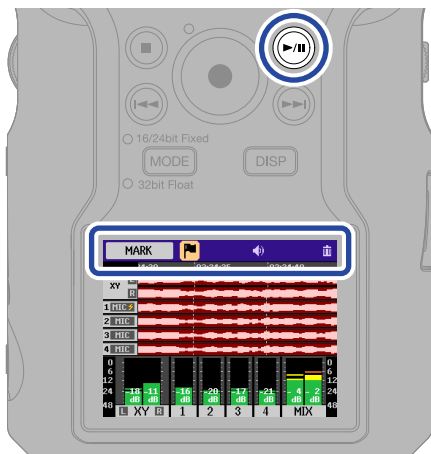


録音を停止します。



を「HOLD」にスライドすることで、録音中の誤操作を防止することができます。

録音画面の操作



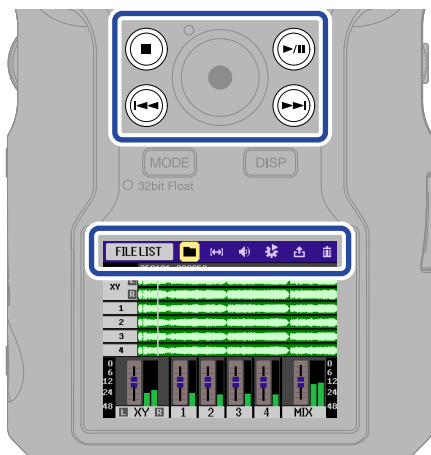
	一時停止／録音を再開します。 録音を再開するとマークが付けられます。
MARK	再生時の頭出し用の目印をつけます。
OUTPUT	ライン出力の設定をします。
TRASH	録音を停止して、ファイルをゴミ箱に移動します。

再生する



再生が開始されます。

■再生画面の操作

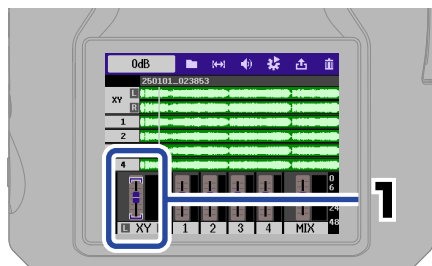


	再生を停止します。
	一時停止／再生を再開します。
	前のファイル／ファイルの先頭／前のマークに移動します。 長押しすると、早戻しします。
	次のファイル／次のマークに移動します。 長押しすると、早送りします。
FILE LIST	ファイルリスト画面に移動します。
AB REPEAT	範囲を指定して（A-B）リピート再生します。
OUTPUT	ライン出力の設定をします。
OPTION	再生モードや再生音量のノーマライズ、再生速度を設定できます。
EXPORT	ファイルを変換して書き出します。
TRASH	ファイルをゴミ箱に移動します。

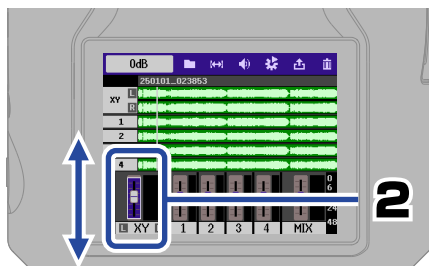
ミキサーを操作するには、再生中に



を回してカーソルをフェーダーに移動してください。



トラックを選択する



トラックを決定して、調節する

ミキサーの設定は、再生ファイルごとに自動保存されます。

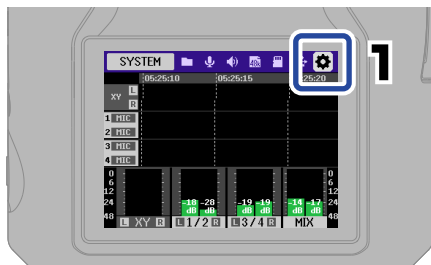


を押すと再生を停止し、ホーム画面に戻ります。

オンラインヘルプの 2 次元コードを表示する

SYSTEM の Help を選択すると 2次元コードを表示します。

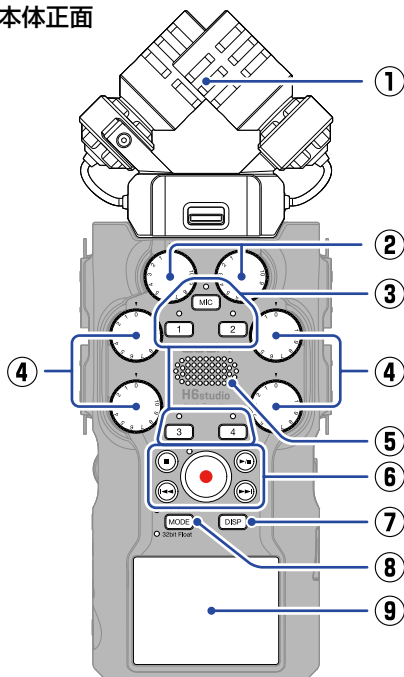
スマートフォンで読み取ると、製品に関する詳しいドキュメントをご覧ください。



zoomcorp.com/help/h6studio

各部の役割

■本体正面



① XY マイクカプセル (XYH-5s)

指向性マイクを交差させて配置したステレオマイクです。自然な奥行きと広がりをもった立体的なサウンドで録音できます。

② MIC GAIN ノブ

MIC の入力音量を調節します。

③ トラックキー／ステータスインジケータ

トラックキーを押してインジケータを赤に点灯させると、そのトラックが録音対象となります。

④ INPUT 1/2/3/4 GAIN ノブ

INPUT 1/2/3/4 の入力音量を調節します。

⑤ スピーカー

ファイルを再生すると、ここから音声が出力されます。
ヘッドホン端子にヘッドホンが接続されていると、スピーカーから音声は出力されません。

⑥ 各種キー

 STOP キー	録音や再生を停止します。
 PLAY/PAUSE キー	録音したファイルを再生／一時停止します。
 REC キー／インジケータ	録音を開始します。 録音中はインジケータが点灯します。 録音中に押すと、録音を停止します。
 REW キー	再生／一時停止中に、前のファイル／ファイルの先頭／前のマークに移動します。 長押しすると、早戻しします。
 FF キー	再生／一時停止中に、次のファイル／次のマークに移動します。 長押しすると、早送りします。

⑦ DISPLAY キー

ホーム画面または再生画面の表示を「レベルメーターのみ」、「波形のみ」または「レベルメーターと波形」の中から切り替えます。

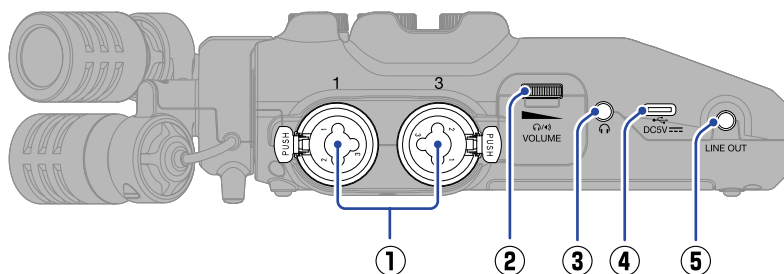
⑧ REC モードキー／インジケータ

録音するファイルを 16/24bit Fixed または 32bit Float から選択します。

⑨ ディスプレイ

各種情報を表示します。

■本体左側面



① INPUT 1、INPUT 3 端子

マイクや楽器を接続します。XLR、1/4 インチフォン（TRS）プラグに対応しています。

② VOLUME ダイアル

スピーカーまたはヘッドフォンから出力される音量を調節します。

③ ヘッドフォン端子

ヘッドフォンに音声を出力します。

④ USB 端子（Type-C）

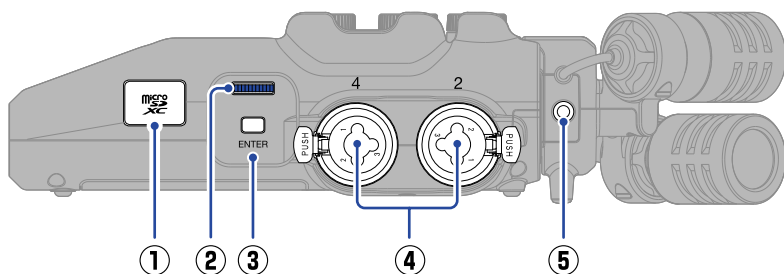
パソコンやスマートフォン／タブレットと接続して、オーディオインターフェース機能、ファイル転送機能を使用できます。

USBバスパワー動作に対応しています。データ転送に対応した USB ケーブルを使用してください。

⑤ LINE OUT 端子

外部機器に音声を出力します。

■本体右側面



① microSD カードスロット

microSD カードを挿入します。

② セレクトダイヤル

項目を選択します。

③ ENTER キー

項目を決定します。

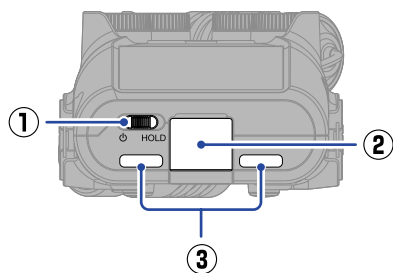
④ INPUT 2、INPUT 4 端子

マイクや楽器を接続します。XLR、1/4 インチフォン（TRS）プラグに対応しています。

⑤ MIC/LINE IN 端子

外部マイクやライン機器を接続すると、XY マイクの代わりに録音することができます。プラグインパワー方式のマイクにも対応しています。

■本体底面



① 電源／ HOLD スイッチ

電源の ON/OFF、またはキー操作を無効にします。

② REMOTE 端子

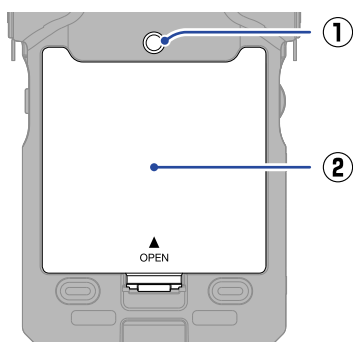
専用アダプター (ZOOM BTA-1 など) を接続して以下のことができます。

- ・「ZOOM Handy Control & Sync」を使って、iPhone/iPad からワイヤレスで H6studio を操作する
- ・ATOMOS 社／ Timecode Systems 社の UltraSync BLUE と接続し、H6studio の録音ファイルにタイムコードを記録する

③ ストラップ穴

ストラップを取り付けます。

■本体背面



① 三脚取り付けネジ穴

三脚を取り付けます。

② 電池カバー

単三電池の取り付け／取り外しをするときに開きます。

その他の機能

■ USB 機能

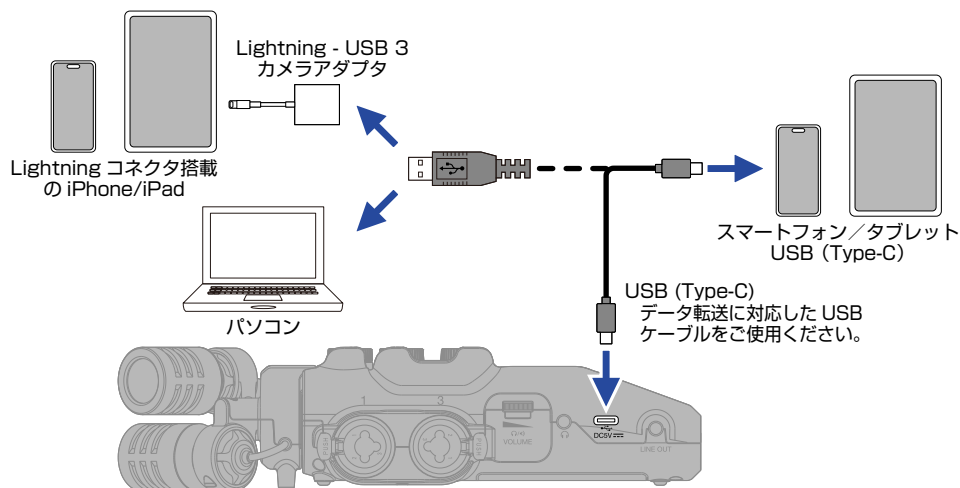
・オーディオインターフェース

パソコンやスマートフォン／タブレットと接続して2IN/2OUTまたは6IN/2OUTのオーディオインターフェースとして使用できます。

Windows パソコンと接続する場合は、ドライバのインストールが必要です。最新のドライバは ZOOM の Web サイト (zoomcorp.com/help/h6studio) からダウンロードできます。

・ファイル転送

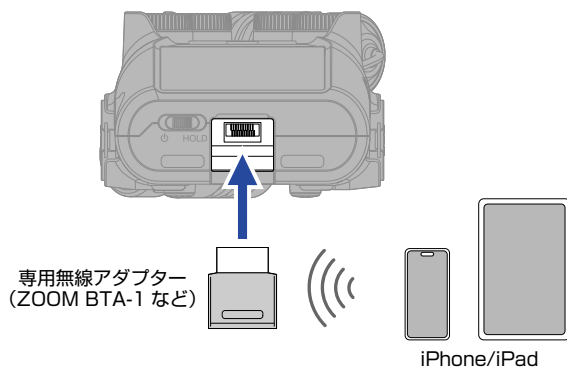
パソコンやスマートフォン／タブレットと接続して microSD カード内のファイルの確認や移動ができます。



■専用無線アダプター（BTA-1）を接続する

・ iPhone/iPad 用アプリ「ZOOM Handy Control & Sync」

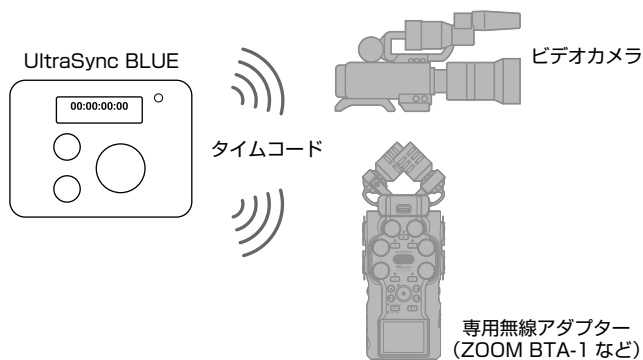
iPhone/iPad から H6studio をワイヤレスで操作できます。



・ UltraSync BLUE

ATOMOS 社／Timecode Systems 社の UltraSync BLUE でタイムコードを発信し、H6studio とビデオカメラの両方でタイムコードを受信することによって、音声データと映像データにそれぞれタイムコードを記録します。

タイムコードは Bluetooth 経由で送受信されます。



故障かなと思う前に

問題	解決方法
音が出ない、もしくは非常に小さい	ヘッドフォンやライン出力のケーブルが正しく接続されているか確認してください。正しく接続されていても音が出ない場合は、ケーブルの断線が考えられます。ヘッドフォンやケーブルを交換してください。
	ヘッドフォンボリュームやライン出力レベルが下がっていないか確認してください。
	接続機器を INPUT 1 (2/3/4) や MIC/LINE IN 端子に接続するケーブルが正しく接続されているか確認してください。正しく接続されていても音が出ない場合は、ケーブルの断線が考えられます。ケーブルを交換してください。
	MIC、INPUT 1 (2/3/4) トラックを有効にしてください。  で入力音量を調節してください。マイク / ラインの設定を確認してください。
	マイクの向きや接続機器の音量設定を確認してください。
	コンデンサーマイクにはファンタム電源を供給してください。
	プラグインパワー方式のマイクにはプラグインパワーを供給してください。
	再生中のミキサーの設定を確認してください。フェーダーが下がっていたり、トラックが無効になっていると音が出ません。
モニター音が歪む	大音量でモニターしているときは、  で出力音量を下げてください。
	 で入力音量を調節してください。マイク / ラインの設定を確認してください。
「MIC INPUT OVERLOAD!」、 「INPUT 1 (2/3/4) OVERLOAD!」 と表示される	入力される音声が大きすぎます。マイクと音源の距離を離す、または接続機器の音量を下げてください。
	風によって大きなノイズが入力されることがあります。屋外で録音する場合や話者の口に近付けて録音する場合など、マイクに直接風が当たる場合は、ノイズを軽減する低域カット設定をお勧めします。また、ウィンドスクリーンの装着もお勧めします。
録音できない	MIC、INPUT 1 (2/3/4) トラックを有効にしてください。
	microSD カードに空き容量があることを確認してください。
	カードスロットに microSD カードが正しくセットされていることを確認してください。

問題	解決方法
録音した音声が続切れる	本体のカードテスト機能を使って、テストに合格したカードを使用してください。 詳細はオペレーションマニュアルを参照してください。
	動作確認済み microSD カードの使用をお勧めします。 ZOOM の Web サイト (zoomcorp.com/help/h6studio) で確認してください。
録音したファイルが壊れている	録音中に電源遮断などの問題が発生した場合でも、一定時間ごとにファイルが自動保存されているため、microSD カードを H6studio に読み込ませ、該当ファイルを再生することで、正常なファイルとして復帰させられる場合があります。
パソコンやスマートフォン／タブレットと USB 接続しても認識されない	データ転送に対応した USB ケーブルを使用してください。 充電専用ケーブルではデータ転送できません。
日時情報がリセットされる	長期間 AC アダプターや電池から電源が供給されない状態が続いて、日時保持用の電源を消費しきった場合、本体に記憶した情報がリセットされます。 電源起動時に日時の設定画面が表示された場合は、再度設定してください。
操作ができない	 が「HOLD」側にスライドされていないことを確認してください。

Microsoft、Windows は、マイクロソフト企業グループの商標です。

iPad および Lightning は、Apple Inc. の商標です。

iPhone の商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

UltraSync BLUE は ATOMOS 社／Timecode Systems 社の商標です。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社ズームはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

microSDXC ロゴは、SD-3C LLC の商標です。



USB Type-C は、USB Implementers Forum の商標です。

文中のその他の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

他の者が著作権を保有する CD、レコード、テープ、実演、映像作品、放送などから録音する場合、私的使用の場合を除き、権利者に無断での使用は法律で禁止されています。著作権法違反に対する処置に関して、株式会社ズームは一切の責任を負いません。

文中のイラストおよび表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

ZOOM®

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3

zoomcorp.com